

日本一の産地豊橋で次郎柿出荷ピーク 高糖度に仕上がっています！

J A豊橋柿部会では、10月下旬から11月上旬にかけて次郎柿の出荷が最盛期を迎えます。本年度は、約19万ケース（1ケース10kg）と平年並みの出荷を見込んでいます。主に関東、関西、中京方面に出荷するほか、J A総合集出荷場併設の直売所「ゆめ彩館」でも販売します。また、10月23日から11月18日の期間限定で、J A豊橋石巻支店横倉庫にて、「次郎柿産直販売」も行います。

次郎柿は四角張って扁平な形をしており、やや硬めでシャキシヤキとした歯ごたえと、コクのある甘さが特徴。豊橋市は全国で生産される次郎柿のうち約70%を占める日本一の産地です。今年も夏の高温による日焼けがありましたが、カメムシの被害は今のところ昨年度よりは少なく、生産者の栽培努力の甲斐あって、被害を最小限に抑え無事に例年並みの出荷量を確保できました。果実肥大時期に、例年より雨が少なかったことから小玉傾向となっていますが、糖度は高く仕上がっています。



収穫風景

【J A豊橋柿部会概要】

部会員：299人

栽培面積：全体197.7ha（次郎176ha）

出荷時期：9月上旬～12月上旬

（次郎柿は10月上旬～11月中旬）

栽培地域：豊橋北部地域

栽培品種：次郎、西村早生、早秋、愛秋豊、富有、陽豊など

主な出荷先：関東、関西、中京方面

【柿の果樹園・選果場（集出荷施設）をご案内します！】

＜収穫風景＞

集合時間：令和7年10月21日（火）8：30

集合場所：馬越集会所（豊橋市石巻本町字北山3-8）

※園地まで乗り合わせでご案内します。

＜選果風景＞

場所：J A豊橋 第六事業所 総合集出荷場（豊橋市石巻本町字太夫橋1-2）

※収穫風景を取材いただいた後、選果場にご案内します。

※天候の状況により中止となる場合がありますので、ご了承ください。



選果風景

当日は、今年度から行う「豊橋柿おこし」（産地を盛り上げる取り組み）についてもご案内します。

【お問い合わせ先】※取材にお越しいただける場合は、事前にご一報ください。

J A豊橋 総務部組合員課 （担当：加藤・鈴木） Tel (0532)-25-4105

携帯 090-7028-1505 E-mail: kouhou@toyohashi.aichi-ja.or.jp

※J Aグループ愛知プレスリリース説明会にもリリースを行っています。